

● 事業の目的

- 空き家相談情報の有効活用および行政等への空き家相談情報提供の円滑化を図るためのデータベースの構築、類型化

● 活動エリア

- 奈良県

● 協議会の構成団体、連携先団体

- NPO法人空き家コンシェルジュ
- 連携事業者：奈良県内市町村

● 実施内容

- これまで蓄積してきた空き家相談情報のデータベース化とデータ分析、類型化
- データベース化した内容を行政等に提供する際の情報の取り扱いに関する検討

● 構成団体等の役割分担

- 事業統括：NPO法人空き家コンシェルジュ

● 連携体制の特徴、事業内容の特徴、課題等

- 特徴：これまでの空き家相談情報をデータベース化、さらに

相談内容を類型化し、自治体等と共有することで、地域ごとの空き家の流通阻害要因

やその対応等を把握し、今後のスムーズな空き家相談対応に役立てる

- 成果（データベース構築）：市町村が所有している空き家所有者の情報では捕捉できない個人の事情や考え方などを踏まえたデータベースの構築
- 成果（データ分析）：流通促進につながる情報、流通困難な地域や物件の改修や管理に関する目安が浮き彫りになった
- 成果（情報提供）：データベース内の情報市町村ごとに閲覧制限をかけること・相談者に個人情報の提供に関する同意書を得ることで、今までより細かな空き家物件のデータや地域の流通状況についての情報を市町村に提供可能
- 課題：特に不動産一般流通が困難な地域など、分析して類型化した内容を多くの地域で活用するためのデータ入力項目の精査と、地域ごとに異なる空き家問題を考慮した情報収集やデータ活用方法の検討

